

# ひろい心 通信

「つよく やさしく ひろい心」が育ち合う学校であるために

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

この結果をもとに、本校の教育活動の改善に努めてまいります。



コミュニケーションの基本である「あいさつ」については、肯定的な回答が、保護者アンケートでは94% (R4:94%)、児童アンケートでは91% (R4:90%)となりました。登校してきた子どもたちとの出会いの場面では、「おはようございます」の元気な声が響いています。

学習面では、がんばっている子どもは、授業では96% (R4:94%)、家庭学習では81% (R4:83%)となっており、保護者の86% (R4:87%)が学習習慣の定着に向けて努力されています。

「自分や友だちを大切にする」については、児童も保護者もともに、肯定的な回答が100% (R4:100%)で、思いやりの気持ちを大切にしているご家庭の様子が思い浮かびます。一方で、「自己肯定感」に関わる設問については、子どものよいところを見つけ、ほめるようにしている保護者が99% (R4:99%)であるのに対して、自分にはよいところがあると思う児童は89% (R4:89%)に留まっています。学校でもお互いのよいところを見つけ、認め合う活動を進めています。引き続き、学校、家庭、地域とあらゆる場面で、子どもの良さを認め、伸ばしていけるように取り組んでいく必要があります。

小野江小学校がコミュニティ・スクール（地域とともにある学校）となって

5年目となります。多くの地域の方々の支援で、本校の教育活動が成り立っています。地域の人々に教えてもらえることが嬉しいと思う子どもは94%（R4:95%）で、この地域が好きだと感じている子どもは99%（R4:97%）います。地域の方に感謝する心や奉仕の心を育てようとしている保護者も96%（R4:96%）で、この地域に住んでよかったと感じている保護者は96%（R4:96%）となっています。今後とも、学校においてお世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを養うとともに、郷土学習など郷土愛を育む活動を進めてまいります。

情報機器の使い方についての項目では、テレビやゲームをする時間を決めている児童は73%（R4:70%）と昨年度を上回っているのに対し、テレビやゲーム、インターネットや携帯電話などについて、約束事をつくっている保護者は83%（R4:91%）と昨年度を下回っています。書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ、個人情報の流出など、子どものスマートフォン利用によるトラブルに巻き込まれないように、ペアレンタルコントロール（子どものスマートフォン等の使用状況を保護者が把握したり、安全管理する仕組み）を活用したり、フィルタリングを利用したり、家庭でのルール（「利用する時間や場所を決める」「名前や顔写真を書き込まない」「保護者がパスワードを管理する」等）をつくったりすることが大切です。

今回のアンケート結果をもとに、保護者、地域住民、教職員からなる学校運営協議会（CS）でも協議し、よりよい学校づくりに努めてまいります。保護者、地域の皆様のご支援、よろしく申し上げます。

小野江小学校の子どもたちの様子は下記のホームページで紹介しています。

<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200063>

「小野江小」を検索！スマホなら右のQRコードを読み取ってアクセス！

